

平成24年度3月補正予算（案）の概要

1 予算規模

（単位：千円）

会 計 区 分		補 正 前 の 額	補 正 額	合 計
一 般 会 計 補 正 予 算 （第5号）		58,752,725	5,258,940	64,011,665
特 別 会 計	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	21,416,551	463,529	21,880,080
	土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	1,116,742	139,200	1,255,942
	そ の 他 の 特 別 会 計	6,507,404	0	6,507,404
	特別会計の計(今回歳入歳出予算の補正は2会計)	29,040,697	602,729	29,643,426
一 般 会 計 及 び 特 別 会 計 の 計		87,793,422	5,861,669	93,655,091
水 道 事 業 会 計 補 正 予 算 （ 第 1 号 ）		7,146,000	13,400	7,159,400
合 計		94,939,422	5,875,069	100,814,491

2 歳出補正予算の主なもの

（単位：千円）

款		事 項	補 正 額	備 考	担 当 課
3	民生費	自立支援医療費給付事業	11,000	障害者の日常生活能力の回復、更生を目的とし、人工透析等の医療費を増額する。	障害福祉課
4	衛生費	子宮頸がん等ワクチン 予防接種費用助成事業	29,000	子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの接種者の増加に伴い、委託料を増額する。	健康づくり課
		健康増進事業	30,000	がん検診の受診者が当初の見込みより増加していることに伴い、委託料を増額する。	
6	農林水産業費	国営附帯県営農地防災事業	18,113	国の緊急経済対策に伴い、県が事業を前倒しすることに併せ、国営附帯県営事業費の負担金を増額する。	農地整備課
8	土木費	道路維持経費	15,000	国の緊急経済対策に伴い、籠原駅南口の道路のわだち及びひび割れ箇所の舗装修繕を行う。	維持課
		都市公園安全・安心対策事業	36,000	国の緊急経済対策に伴い、子供から高齢者まで安心して利用できる都市公園施設の整備を行う。	公園緑地課
10	教育費	小学校施設整備事業 中学校施設整備事業	16,058	国の緊急経済対策に伴い、避難所となる小中学校の耐震対策として、照明器具落下防止策を実施する。	教育総務課
		小学校屋内運動場建築事業	1,102,000	国の緊急経済対策に伴い、桜木小（350,000千円）、熊谷西小（363,000千円）、佐谷田小（389,000千円）の屋内運動場の建築工事を行う。	
		（仮称）スポーツ・文化村整備事業	13,650	国の緊急経済対策に伴い、（仮称）スポーツ・文化村の第2期工事に係る創作展示棟耐震補強及び改修の実施設計業務委託を実施する。	社会教育課

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

自立支援医療費給付事業

1 事業内容

障害者自立支援法に定められた障害の程度を軽減したり、障害を除去（現状維持）したりする医療を受けた方に対して、医療費の一部を助成する。
（医療行為：人工透析、抗HIV療法、人工関節置換術等）

2 事業目的

医療費の負担を軽減し、必要な医療行為を受け易くすることにより障害者の日常生活能力の回復・更生を図る。

3 経緯・経過

医療技術の高度化に伴い、医療扶助に係る支出は増大している。特に生活保護を受けている方の人工透析にかかる医療費は障害者自立支援医療費として公費負担するため、対象者の増加が支出額を押し上げる要因の一つとなっている。
決算見込額 209,000千円

4 影響・効果

障害者の日常生活能力の回復・更生が図られる。

5 特記事項・PRポイント

この制度では、医療費の7割を通常のとおり保険者が負担し、原則1割を受診者（本人・障害者）が負担、2割を公費で助成する。（国1/2、県1/4、市1/4）
受診者の所得に応じた負担軽減措置が取られている。

（1）県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

（2）他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無

有 ☒ 無

担当者

福祉部 障害福祉課 担当 森田

連絡先

TEL 048-524-1111 内線 287

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

子宮頸がん等ワクチン予防接種費用助成事業

1 事業内容

市民の健康支援及び経済的負担を軽減するため、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて、対象者の接種費用を全額公費負担する。

2 事業目的

接種費用の全額を公費負担することにより市民の健康支援及び経済的負担の軽減を図るとともに、感染の予防、発病の防止等を図る。

3 経緯・経過

当初予算では、子宮頸がん予防ワクチンの中学1年生の接種率を80%、ヒブワクチンの接種率を79%、小児用肺炎球菌ワクチンの接種率を73%と見込んだが、接種実績から増加しているため、子宮頸がん予防ワクチンの接種率を83%、ヒブワクチンの接種率を91%、小児用肺炎球菌ワクチンの接種率を78%程度が接種可能となるよう増額補正する。

4 影響・効果

予防接種費用の全額を公費負担することにより、多くの接種対象者が予防接種を受けることができ、感染の予防、発病の防止が図れる。

5 特記事項・PRポイント

国による平成22年、23年、24年度の3年度の補助事業である。
平成25年度より法定予防接種となることが、決定している。

(1) 県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

本人一部負担の市もある中で、公費で全額負担している。

※ 資料の有無

有 ☒ 無 ☐

担当者

市民部 健康づくり課 担当 課長 宮崎 哲

連絡先

TEL

048-528-0601

内線

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

健康増進事業

1 事業内容

がん検診等を受診する機会のない市民に対し、各種検（健）診を実施する（一部自己負担あり）。また、健康教育、健康相談、精神保健に関する事業を実施し、市民への支援を行う。

2 事業目的

市民の健康づくりの推進、がん等の早期発見に努め、市民の健康の保持及び増進を図る。

3 経緯・経過

当初予算は、がん検診等の受診者数を平成23年度の5%増と見込んだが、案内通知の発送や市報・ホームページでの啓発により、昨年度より約15%増が見込まれるため検診委託料を増額補正する。

4 影響・効果

検診によりがんを早期発見することで、早期治療につなげることができる。

5 特記事項・PRポイント

がん検診等については、平成20年度から医療機関での個別検診で実施しており、市民の健康への関心の増加やがん検診案内通知の送付等により、年々受診者が増加している。

(1) 県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無

有 ☒ 無

担当者

市民 部 熊谷保健センター 担当 所長 宮崎 哲

連絡先

Tel 048-526-5737 内線

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

国営附帯県営農地防災事業

1 事業内容

国の緊急経済対策に伴う国営附帯県営農地防災事業の補正総額は210,000千円であり、それに伴う当市の県営事業費負担金として、18,113千円を増額補正する。
事業内容は、玉井用水路の内面補修等L=0.3km、左幹線用水路の内面補修等L=0.2kmである。

2 事業目的

国営事業により六堰頭首工、幹線導水路及び幹線用水路の改修を行った。
県営事業により、玉井、左幹線ほか支線用水路等の改修を行うものである。

3 経緯・経過

農業用水施設の老朽化等の問題が生じている。

4 影響・効果

農業用水施設の機能回復と管理形態の適正化
県営ほ場整備事業熊谷中央地区等への農業用水の安定供給

5 特記事項・PRポイント

(1) 県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無

有・無

担当者

産業振興 部 農地整備課 担当 船越 均

連絡先

TEL 0 4 8 - 5 8 8 - 1 3 2 1 （代） 内線 3 2 0

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

道路維持経費

1 事業内容

都市計画道路籠原駅南口線（市道125号線）の、籠原駅南口駅前交通広場から都市計画道路御堂ヶ谷戸線までの約240mの区間の舗装修繕を実施する。

2 事業目的

籠原駅南口線の舗装修繕を行い、常時良好な状態で市民の利用に供する。

3 経緯・経過

国の緊急経済対策の舗装修繕の採択基準とされる、わだち堀れ40mm以上、また、ひび割れ率40%という条件を満たす籠原駅南口線を社会資本整備交付金を活用して、舗装修繕を実施する。

4 影響・効果

籠原駅南口へは送迎等に起因する交通量が多い。道路施設の維持管理に万全を期することにより、市民生活の利便性の向上が図られ、安全性の確保、防災、減災に役立つ。

5 特記事項・PRポイント

国の緊急経済対策に伴い、社会資本整備総合交付金を活用して、わだち堀れ、ひび割れの著しい籠原駅南口線の舗装修繕を行う。

(1) 県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無

無

担当者

建設部 部

維持課

担当

諏訪

昌巳

連絡先

Tel

048-524-1111

内線540

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

都市公園安全・安心対策事業

1 事業内容

都市公園の機能保全・向上対策による安全性の確保等、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心できる都市公園の整備を図るため、施設のバリアフリー化等の改築工事を行う。

2 事業目的

都市公園施設のバリアフリー化、遊具改築工事を実施し、誰もが安全で安心できる都市公園とする。

3 経緯・経過

国土交通省が平成21年度に『都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業』を創設し、公園施設の維持管理経費（改築・更新）が補助対象に加えられた。本市では、平成23年度から社会資本整備総合交付金（国庫補助1/2）を受け、24公園の施設のバリアフリー化や遊具の改築工事の計画を立て事業に着手しているところである。
この度の補正は、国の緊急経済対策に伴い、4箇所の公園整備を早期に実施するものである。

4 影響・効果

- ・安全で安心して利用できる公園機能の維持
- ・施設のバリアフリー化による公園利用者層の拡大(子供やお年寄りなどが安全で安心して利用できる公園)

5 特記事項・PRポイント

- ・平成23年度：3箇所（東、堤、万平公園）
 - ・平成24年度（当初）：5箇所（玉井、宮前、本石、荒川、外原公園）
 - ・平成24年度（追加）：4箇所（別府第3、曙、宮町、箱田第4公園）
- ※参考：本事業は平成25年度までの時限措置となっており、平成26年度以降、国庫補助を受けるには公園施設長寿命化計画を策定し維持管理していくことが要件となっているため、本市でも平成25年度に計画策定の予定である。

(1) 県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無

無

担当者

都市整備 部 公園緑地課 担当 渡辺

連絡先

Tel 0493-39-4806（直通） 内線

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

小学校施設整備・中学校施設整備事業

1 事業内容

国の緊急経済対策に伴い、屋内運動場の照明器具等に落下防止ワイヤーを取付け、地震時における子どもたちの安全を確保する。

2 事業目的

学校施設として、また、災害時の避難所としての屋内運動場の照明器具等に落下防止ワイヤーを取付け、非構造部材の耐震化を図る。

3 経緯・経過

熊谷市では、子どもたちが一番長い時間を過ごす校舎については、平成21年度で全ての小中学校の耐震化を完了している。屋内運動場についても、計画的に改築による耐震化を進めているが、非構造部材の耐震化についても緊急度を勘案しながら進めていく。

4 影響・効果

屋内運動場の照明器具等の落下を防止することにより、児童生徒等の安全を確保する。

5 特記事項・PRポイント

(1) 県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無

無

担当者

教育委員会

教育総務課

担当

渡部

連絡先

Tel

048-524-1111

内線

382

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

小学校屋内運動場建築事業

1 事業内容

桜木小（350,000千円）、熊谷西小（363,000千円）、佐谷田小（389,000千円）の3つ小学校の屋内運動場の改築工事を、国の緊急経済対策に伴い実施する。

2 事業目的

老朽化した小学校の屋内運動場を改築することで、施設の耐震化により子どもたち等の安全を確保するとともに、子どもたちや地元住民の利便性の向上を図る。

3 経緯・経過

熊谷市では、子どもたちが一番長い時間を過ごす校舎については、平成21年度で全ての小中学校の耐震化を完了している。屋内運動場についても随時改築を進めてきたが、平成21年度に昭和56年の耐震新基準前の設計により建築された屋内運動場について耐震診断を実施し、平成23年度、平成24年度、平成25年度と年3校ずつ、教育環境の向上のため、また、災害時の避難所にもなることから、改築により耐震化を進めている。

4 影響・効果

改築することにより、子どもたちの安全確保、利便性の向上はもとより、地域住民や災害時の避難所としての安全性、利便性の向上が図られる。

5 特記事項・PRポイント

災害時の避難所となることを考慮し、井戸のない桜木、熊谷西小学校については、手押しポンプ式の井戸を設置し、いざという時の生活水として利用する。また、3校とも太陽光発電システムを設置し、学校の使用電力の一部をまかなうとともに、子どもたちの環境教育にも役立つ。

(1) 県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無

無

担当者

教育委員会

教育総務課

担当

渡部

連絡先

TEL

048-524-111

内線

382

熊谷市記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

（仮称）スポーツ・文化村整備事業

1 事業内容

スポーツ・文化村の第2期工事として、改修整備を予定する創作展示棟（旧教室棟）等の実施設計業務委託を実施する。
なお、現在改修整備中の第1期工事分施設（総合管理棟、練習棟、宿泊棟、体育館）は、平成25年9月のオープンを予定している。

2 事業目的

子どもから高齢者までの幅広い世代の市民が、生涯にわたってスポーツ・文化に親しむことができ、合宿や研修による宿泊も可能な拠点施設として整備する。
なお、本施設はスポーツでは大会等の開催より練習場としての利用、文化活動では発表より個々の創作活動の支援を目的としている。

3 経緯・経過

平成20年3月に閉校した旧市立女子高等学校の有効活用を図るため、市立女子高等学校跡地及び施設活用委員会等において検討した結果、（仮称）スポーツ・文化村として整備することとなった。
平成23、24年度に基本設計及び第1期工事実施設計を行い、工事に着手している。

4 影響・効果

多くの市民等の利用が予想されることから、スポーツ及び芸術・文化活動の充実を図ることができる。

5 特記事項・PRポイント

平成24年9月議会において第1期工事分を2か年にわたる工事として予算計上した。
宿泊設備を備えた生涯学習センターであり、施設を利用した合宿や研修に加え、市内で開催される全国大会等の参加者の利用が可能である。

（1）県内の状況

ア 県内で初めて イ 県内で 番目

（2）他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無

有 ☒ 無 ☐

担当者

教育委員会

社会教育課

担当

生涯学習係

木村、小暮

連絡先

TEL

048-524-1111

内線

394

国の緊急経済対策補助金を活用する事業一覧

課名	該当事業名	事業費	うち緊急経済 対策補助金	備考
農地整備課	かんがい排水補助事業	3,207	0	
	国営附帯県営農地防災事業	18,113	0	
	ほ場整備事業	13,230	0	
	排水機場維持管理経費	11,641	0	
	農道保全対策事業	10,035	0	
公園緑地課	都市公園安全・安心対策事業	36,000	17,000	
維持課	道路維持管理経費	15,000	6,325	
教育総務課	桜木小屋内運動場建築事業	350,000	5,210	太陽光発電分
			52,710	本体分
	熊谷西小屋内運動場建築事業	363,000	5,210	太陽光発電分
			69,699	本体及び 屋外トイレ分
	佐谷田小屋内運動場建築事業	389,000	5,210	太陽光発電分
			54,739	本体分
	小学校施設整備事業	10,520	5,260	
	中学校施設整備事業	5,538	2,769	
社会教育課	スポーツ・文化村整備事業	13,650	2,743	
区画整理 西部事務所	籠原中央第一土地区画整理実施事業	54,000	27,500	
区画整理 中央事務所	上之土地区画整理実施事業	76,700	28,000	
	上石第一土地区画整理実施事業	8,500	3,200	
合 計		1,378,134	285,575	